

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年9月27日 (2012.9.27)

【公表番号】特表2011-530937(P2011-530937A)

【公表日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2011-051

【出願番号】特願2011-522613(P2011-522613)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/023 (2006.01)

H 0 3 M 11/04 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

G 0 6 F 17/22 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 3 M 11/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/023 3 1 0 L

G 0 6 F 3/041 3 3 0 C

G 0 6 F 3/048 6 2 0

G 0 6 F 17/21 5 8 6 G

G 0 6 F 17/22 5 0 2 G

H 0 4 M 1/00 R

G 0 6 F 3/023 3 1 0 K

G 0 6 F 3/041 3 8 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月10日 (2012.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単語予測システムであって、

前記システムは、

第1のグループの入力信号を含み、

前記第 1 のグループの入力信号に対して、1 つの言語の文字の少なくともいくつかを含む複数の文字と、特異的な文字のグループとが割り当てられることによって、前記入力信号の少なくとも 1 つに対して、多くの文字と多くの特異的な文字とが多義的に割り当てられ、

前記システムは、さらに

単語のデータベースを含み、

データベースの単語の少なくともいくつかは、前記複数の文字のいくつかの文字からなり、

第 1 の入力信号の 1 つ以上を受け取ると、単語予測システムはデータベースの少なくとも 1 つの単語を予測することを特徴とする単語予測システム。

【請求項 2】

前記システムが、少なくとも１つの第２のグループの入力信号を含み、前記第２のグループの入力信号の各々に対して、前記複数の文字の一部が割り当てられ、

第２のグループの入力信号の少なくとも１つの信号を受け取ると、第１と第２のグループの入力信号から受け取った信号に対応する別の単語を予測することを特徴とする請求項１に記載のシステム。

【請求項３】

前記少なくとも１つの第２のグループの入力信号の１つが、主に、前記文字以外の文字を含むことを特徴とする請求項２に記載の単語予測システム。

【請求項４】

前記少なくとも１つの第２のグループの入力信号の１つが、主に、文字を含むことを特徴とする請求項２に記載の単語予測システム。

【請求項５】

第２の入力信号の各々の信号が、１つの識別された文字を表示することを特徴とする請求項３又は４に記載の単語予測システム。

【請求項６】

第２のグループの入力信号の信号を受け取ると、予測された単語の対応する文字を、対応する正確な文字によって置き換えることを特徴とする請求項１乃至５のいずれかに記載の単語予測システム。

【請求項７】

前記正確な文字を有し、および作動された第１の入力信号に対応する別の単語を予測することを特徴とする請求項６に記載の単語予測システム。

【請求項８】

タッチセンサ表面の１つの上で、または空中で、予め定義された滑り動作を提供することによって、第２のグループの入力信号の入力信号を提供することを特徴とする請求項２乃至７のいずれかに記載の単語予測システム。

【請求項９】

キー上で、予め定義された方向に滑り動作を提供することによって、第２のグループの入力信号の入力信号を提供することを特徴とする請求項２乃至７のいずれかに記載の単語予測システム。

【請求項１０】

複数の文字の第１の部分が主に文字を含み、前記第１の部分は、少なくとも１つの第２のグループの入力信号の第１のグループに割り当てられ、および複数の文字の第２の部分が主に特異的な文字を含み、前記第２の部分は、少なくとも１つの第２のグループの入力信号の第２のグループに割り当てられることを特徴とする請求項１乃至９のいずれかに記載の単語予測システム。

【請求項１１】

センサ表面の第１の側部上で滑り動作を提供することによって、文字に対応し、およびセンサ表面の第２の側部上で滑り動作を提供することによって、特異的な文字に対応することを特徴とする請求項２乃至１０のいずれかに記載の単語予測システム。

【請求項１２】

第１のグループの入力信号の入力信号が、４つの入力手段と相互に作用することによって提供されることを特徴とする請求項１乃至１１のいずれかに記載の単語予測システム。

【請求項１３】

少なくとも文字を表示する第１の入力信号を提供する４つの入力手段が、タッチセンサ表面の反対側に配されることを特徴とする請求項１乃至１２のいずれかに記載の単語予測システム。

【請求項１４】

タッチセンサ表面がタッチスクリーンであり、４つの入力手段がオン・スクリーンキーであることを特徴とする請求項１乃至１３のいずれかに記載の単語予測システム。